

1. 令和 7 年度 加賀市医療センターの 運営状況について



加賀市健康福祉部介護福祉課

令和 8 年 8 月 25 日

●医療機能等指標について

年度 区分			6年度	7年度
救急搬送依頼受入率(%)		目標	99.0	99.0
		実績	96.7	97.9
地域救急貢献率※1(%)		目標	32.0	32.0
		実績	31.1	30.3
手術件数	手術室	目標	1,350	1,400
		実績	1,364	1,313
	手術室以外	目標	2,000	2,000
		実績	2,062	2,013
臨床研修医 受入人数	基幹型	目標	5	6
		実績	5	6
	協力型	目標	2	3
		実績	2	4(内2人3ヶ月)
紹介率※2(%)		目標	35.0	40.0
		実績	41.5	47.2
逆紹介率※3(%)		目標	65.0	65.0
		実績	84.0	85.3
在宅復帰率 (%)	急性期	目標	90.0	90.0
		実績	93.0	93.5
	地域包括ケア	目標	80.0	80.0
		実績	88.3	88.3
	回復期リハ	目標	80.0	80.0
		実績	90.0	85.0
分娩件数		目標	120	125
		実績	98	72
地域分娩貢献率※4(%)		目標	9.5	10.0
		実績	7.6	5.6
クリニカルパス※5件数		目標	2,100	2,200
		実績	2,554	2,789

●経営指標について

1) 収支改善に係るもの

区分 \ 年度		6年度	7年度
経常収支比率 ^{※6} (%)	目標	98.4	99.2
	実績	94.5	95.8
医業収支比率 ^{※7} (%)	目標	91.8	92.5
	実績	87.0	86.6
修正医業収支比率 ^{※8} (%)	目標	90.8	91.6
	実績	86.1	85.7
不良債務比率 ^{※9} (%)	目標	0.7	-1.6
	実績	1.1	-1.5

2) 経費削減に係るもの

区分 \ 年度		6年度	7年度
職員給与費比率(%)	目標	65.2	64.6
	実績	69.3	69.1
材料費比率(%)	目標	18.9	18.9
	実績	19.5	20.6
うち薬品費比率(%)	目標	9.5	9.5
	実績	10.9	11.6
経費比率(%)	目標	16.1	15.9
	実績	17.2	17.2
うち委託料比率(%)	目標	10.5	10.3
	実績	10.5	10.4
減価償却比率(%)	目標	8.1	7.9
	実績	8.5	8.1
支払い利息比率 (金融費用比率)(%)	目標	0.4	0.3
	実績	0.5	0.6
後発医薬品使用率 ^{※10} (%)	目標	92.0	92.0
	実績	93.1	94.1

3) 収入確保に係るもの

区分 \ 年度		6年度	7年度
1日当り入院患者数(人)	目標	279	281
	実績	267	275
1日当り外来患者数(人)	目標	470	460
	実績	472	446
うち初診患者比率(%)	目標	9.6	9.8
	実績	9.2	8.7
1人1日当り入院収入(円)	目標	53,331	54,067
	実績	50,941	50,803
1人1日当り外来収入(円)	目標	16,000	16,500
	実績	16,356	17,701
医師1人1日当り診療収入(円)	目標	432,301	430,319
	実績	337,906	347,114
看護部門職員1人1日当り診療収入(円)	目標	63,942	64,206
	実績	55,611	55,751
病床利用率 ^{※11} (%)	目標	88.0	88.6
	実績	84.2	86.7
病床稼働率 ^{※11} (%)	目標	93.0	93.6
	実績	89.1	91.7
急性期病棟平均在院日数 ^{※12} (日)	目標	14.4	14.2
	実績	14.0	13.7
患者未収金比率 ^{※13} (%)	目標	0.96	0.95
	実績	0.57	0.55
DPC機能評価係数(Ⅰ)+(Ⅱ) ^{※14}	目標	0.4046	0.4146
	実績	0.4105	0.4059

4) 経営の安定性に係るもの

区分 \ 年度		6年度	7年度
医師数(常勤)	目標	46	47
	実績	49	48
現金保有残高(百万円)	目標	484	624
	実績	202	109
企業債残高 ^{※15} (百万円)	目標	5,419	5,031
	実績	5,322	5,493

●収支実績

1) 収益の収支

(単位:百万円)

区分		年度	6年度 (実績)	7年度 (見込)
収入	1. 医業収益	a	7,113	7,285
	(1) 料金収入		6,843	7,011
	(2) その他		270	274
	うち他会計負担金		75	75
	2. 医業外収益		1,035	1,245
	(1) 他会計負担金		549	593
	(2) 他会計補助金		19	20
	(3) 国(県)補助金		26	172
	(4) 長期前受金戻入		367	366
	(5) その他		74	94
	経常収益	(A)	8,148	8,530
支出	1. 医業費用	b	8,174	8,411
	(1) 職員給与費	c	4,930	5,036
	(2) 材料費		1,385	1,501
	(3) 経費		1,222	1,250
	(4) 減価償却費		606	593
	(5) その他		31	31
	2. 医業外費用		452	494
	(1) 支払利息		34	42
	(2) その他		418	452
	経常費用	(B)	8,626	8,905
	経常損益(A)-(B)	(C)	-478	-375
特別損益	1. 特別利益	(D)	0	0
	2. 特別損失	(E)	1	0
	特別損益(D)-(E)	(F)	-1	0
純損益(C)+(F)			-479	-375
累積欠損金			1,593	1,969
流動資産			1,464	1,362
流動負債			1,543	1,254
うち一時借入金			0	0
翌年度繰越財源			0	0
当年度許可債で未借入 又は未発行の額			0	0
不良債務 [(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)]			79	-108
経常収支比率			$\frac{(A)}{(B)} \times 100$	94.5
不良債務比率			$\frac{(オ)}{a} \times 100$	1.1
医業収支比率			$\frac{a}{b} \times 100$	87.0
職員給与費対医業収益比率			$\frac{c}{a} \times 100$	69.3
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額			(H)	-161
地方財政法による 資金不足の比率			$\frac{(H)}{a} \times 100$	-2.3
病床利用率			84.2	86.7

2) 資本的収支

(単位:百万円)

区分		年度	6年度 (実績)	7年度 (見込)
収入	1. 企業債		112	102
	2. 他会計出資金		424	347
	3. 他会計負担金		0	0
	4. 他会計借入金		0	0
	5. 他会計補助金		1	3
	6. 国(県)補助金		26	5
	7. その他		0	0
	収入計	(a)	563	457
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額	(b)	0	0
	前年度同意等債で当年度借り入分	(c)	0	0
	純計 (a)-[(b)+(c)]	(A)	563	457
支出	1. 建設改良費		140	130
	2. 企業債償還金		753	632
	3. 他会計長期借入金返還金		0	300
	4. その他		5	7
	支出計	(B)	898	1,069
	差引不足額 (B)-(A)	(C)	335	612
補填財源	1. 損益勘定留保資金		335	612
	2. 利益剰余金処分額			
	3. 繰越工事資金			
	4. その他			
	計	(D)	335	612
	補填財源不足額 (C)-(D)	(E)	0	0
	当年度許可債で未借入 又は未発行の額	(F)	0	19
	実質財源不足額 (E)-(F)		0	-19
	企業債残高※15	(H)	5,322	5,493

3) 一般会計等からの繰入金

(単位:百万円)

	6年度 (実績)	7年度 (見込)
収益的収支	(5) 623	(6) 668
資本的収支	(0) 424	(0) 347
合計	(5) 1,047	(5) 1,015

(注)

1 ()内は、うち基準外繰入金

2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について(総務省自治財政局長通知)」に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう。

【用 語 集】

※1 地域救急貢献率

南加賀医療圏の救急搬送受け入れにどのくらい貢献しているかを表す指標のこと。

※2 紹介率

紹介患者数

$$\frac{\text{紹介患者数}}{\text{初診患者数（救急搬送患者および休日・夜間の救急患者を除く。）}} \times 100$$

※3 逆紹介率

逆紹介患者数

$$\frac{\text{逆紹介患者数}}{\text{初診患者数（救急搬送患者および休日・夜間の救急患者を除く。）}} \times 100$$

※4 地域分娩貢献率

南加賀医療圏の分娩にどのくらい貢献しているかを表す指標のこと。

※5 クリニカルパス

患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画。標準からの偏位を分析することで医療の質を改善する手法。

※6 経常収支比率

繰入金を含む病院の収益性を示す
100%以上が望ましい

$$\frac{\text{医業収益} + \text{医業外収益}}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} \times 100$$

※7 医業収支比率

医業活動の収益性を示す

$$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$

※8 修正医業収支比率

医業収益－他会計負担金

$$\frac{\text{医業収益} - \text{他会計負担金}}{\text{医業費用}} \times 100$$

※9 不良債務比率

不良債務＝（流動負債－（流動資産－翌年度に繰り越される支出の財源充当額））

$$\frac{\text{不良債務}}{\text{医業収益}} \times 100$$

※10 後発医薬品使用率

後発医薬品使用量

$$\frac{\text{後発医薬品使用量}}{\text{後発医薬品あり先発医薬品使用量} + \text{後発医薬品使用量}} \times 100$$

※11 病床利用率・病床稼働率

病床利用率 = $24 \text{ 時現在の入院患者数} \div \text{病床数} \times 100$

病床稼働率 = $(24 \text{ 時現在の入院患者数} + 0 \sim 24 \text{ 時の退院患者数}) \div \text{病床数} \times 100$

※12 急性期病棟平均在院日数

急性期病棟における年間の在院患者延日数

$(\text{急性期病棟における年間の新入棟患者数} + \text{急性期病棟における年間の新退棟患者数}) \div 2$

※13 患者未収金比率

年度末未収金額（患者分）

$\times 100$
年間入院収益 + 年間外来収益

※14 D P C機能評価係数

機能評価係数Ⅰ：病院の人員配置や施設全体として有する体制など構造的因子を評価する係数。10対1入院基本料、医療安全対策加算、感染対策向上加算、医師事務作業補助体制加算などがある。

機能評価係数Ⅱ：医療機関が担うべき役割や機能を評価する係数で、DPC対象病院に対するインセンティブとしての係数。効率性係数、複雑性係数、カバー率係数などがある。また、当該数値には救急補正係数を含む。

※15 企業債残高

地方公営企業の事業資金を調達するために地方公共団体が発行する地方債の残高。